

英語キャンプが生まれ変わる

子どもたちの英語への関心が高まる中、12月8日に開催された英語キャンプは、例年以上に活気ある英語活動が行われました。

今年も毎年行われていた内容を一新。町内在住の高校生、佐々木真彩さんが考えた企画を採用し事業が進められました。佐々木さんは、今年の夏に「TOMODATIサマー」という留学に参加し、アメリカで3週間まちづくりやリーダーシップを学び、自分ができる地域貢献活動を考案。それが子どもたちにより英語に親しんでもらうためのプロジェクトでした。「海外に行った時でも自信を持って過ごしてほしい」と現地のシチュエーションに合わせた会話にチャレンジできる内容を検討。キャンプは、入国審査からインフォメーションセンターでの対応、買い物、カフェでの注文といった実践的な内容のものとなりました。当日は、佐々木さんを含め高校生ボランティア3人が企画を進行。参加した中学生たちは、

最初は恥ずかしそうに英語を話していましたが、徐々に「英語で話す」ということに慣れ、自信を持った表情を浮かべていました。

世界へ羽ばたく子どもたち

新しいプログラムの元で一日を過ごした中学生。自分たちでブース設置などを準備しただけではなく、訪れる側の英語と現地の店員やスタッフ側の役をするなど、理解を深めました。感想では「今日の活動で海外への興味が強くなった」「海外研修に行きたいと思っていて、現地で役立つ英語をすべて自信になった」「英語だと学年問わず気軽にコミュニケーションが取れて楽しかった」など英語と海外への興味が高まった内容を発表していました。

町の英語教育を受けて育った子どもたちは、海外研修などを通じて世界に飛び出す子どもたちや中学卒業後にも海外での学びに挑戦する生徒など英語を通じて世界への関心が育まれ、世界で貢献できる人材へと歩みを進めています。



1 真剣な眼差しで英語に取り組む生徒  
2 買い物ブースで笑顔で自分の欲しいものを話す生徒  
3 カフェブースで注文を話す生徒  
4 英語指導員に確認しながらスタッフ役を務める生徒  
5 生徒たちに英語指導を行う高校生たち

## 歩みだす、次世代の力

12月に行われた英語キャンプ。この企画を持ち込んだのは町内在住の1人高校生でした。金ケ崎で英語を学び、その楽しさを伝えたいという思いがイベント実現へと突き動かしました。

4人の英語指導員

皆さん楽しく英語を学びましょう！  
学校では気軽に話しかけてね！



Colin Thies  
コリン・ティース先生

Charissa Dobson  
カリッサ・ドブソン先生

McKenna Todd  
マッケナ・トッド先生

Daniel DeGrasse  
ダニエル・デグラス先生

### 今、自分ができるところを まずは行動に移してみるのが大事

今回英語キャンプの企画をできとても充実感を感じています。夏に短期留学をして、金ケ崎町のことをとても考えました。その中で、金ケ崎で英語教育を学ぶことができたことで今の自分があり、感謝の思いを込めて何か恩返しできることはないかと考え、今回の企画をしたと思いました。学校へ行きながらの企画で大変な面もありましたが、ダニエル先生たちの助けもあり中学生に楽しんでもらえるものになったと思います。

私自身、留学をして何かできることはと考えましたが、中学生たちには「今何かをしてみたい」と思ったら、立ち止まらず実行に移してもらいたいと思います。今回企画した英語キャンプも中学生たちが自主的に考え、どんどん良いものに変化させ継続してもらえれば嬉しいです。

水沢高校2年  
ささき まあや  
佐々木 真彩さん

MAAYA SASAKI

